

広島市立大学産学官連携推進協力会

— いちだいは、地域の力を求めています! —

会長あいさつ

本会は、産業界・行政・大学が一体となり、地域産業の活性化と地域社会の持続的な発展を目指しています。

産学連携教育や共同研究を推進するとともに、「いちだいイノベーションフォーラム」などの交流を通じ、地域のニーズに即した活動を展開しています。今後は特に、産学官の強固な連携を通じて、変化の激しい時代に求められる高度な人材育成を強化してまいります。

本会の活動を積極的にご活用いただき、地域の未来を共に創るパートナーとして、皆様のご入会を心よりお待ちしております。



前田 香織 会長

活動
内容

01 産学官で連携した人材育成、人材交流の促進

- ・産学連携教育(情報科学部・情報科学研究科)の支援
- ・インターンシップの促進

02 産学官連携関係者間の交流促進

- ・技術発表会(産学連携発表会、マッチングフォーラム)の開催

03 共同研究開発の促進

- ・技術相談、共同研究、受託研究

産学官連携推進
協力会HP



会費
無料

入会案内

本学の活動や取り組みを随時ご案内いたしますので、是非ご入会ください。
入会はこちら➡ [【https://forms.cloud.microsoft/r/NwfhBu5mgj】](https://forms.cloud.microsoft/r/NwfhBu5mgj)



市大の産学連携活動イベント

【いちだいイノベーションフォーラム】

地域産業の活性化、高度化、地域社会の持続的な発展のため、企業が求めるニーズと本学研究者の研究シーズを結ぶ機会としてのマッチングフォーラムです。



★産学官連携推進協力会の会員を優先してご案内します。

【産学連携発表会】

研究内容を地域産業界や産学官連携推進関係機関に公開することにより、共同研究や研究成果の事業化の推進を図ることを目的とし、基調講演、研究者講演、マッチングセッション・交流会を実施しています。



産学連携発表会特設サイト➡

[【https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/】](https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/)



大学と一緒に教育・人材育成を! 産学連携教育



団体・企業様に大学で講義や実践的な授業を受け持っていただき、多様な学びの機会を通して、地域社会や地域産業に根ざした人材育成を行います。

①全学部対象プログラム

NEW 広島県の産業と技術

広島地域を支える産業について学ぶことを目的とした座学形式。企業・団体は、1回出講し、テーマに沿った講義を実施する。

参加企業・団体の例 広島県の伝統産業・農業・食品産業・工業・マスコミ
医療・広島県(観光)・広島市(経済振興)ほか

対象学生 学部1・2年(国際学部・情報科学部・芸術学部)

授業実施月 10月～2月

学生の声

東京や大阪の大企業への就職しか考えてなかったが、広島(地元)の中小企業も視野に入りたい。



②情報科学研究科・情報科学部対象プログラム

情報科学分野の学生を対象とした講義演習型の3つのカリキュラム

タイプA 知る! 講義形式

地域や企業の課題、IT人材育成の必要性や課題解決に向けた取り組みを講述する座学形式。団体・企業は1回以上出講し、テーマに沿った講義と小課題の評価を担当。

対象学生・授業名 学部2年「実践的ICT活用事例」

授業実施月 12月～1月



タイプB 深める! 演習形式

企業・団体から提示された課題に対し、学生が背景調査や解決プロセス(グループワーク等)を体験する演習形式。団体・企業はプロセス指導と成果評価を担当。

対象学生・授業名 学部2年「課題解決型演習」・8月～9月
授業実施月 大学院1・2年「プロジェクト演習」・7月～2月



タイプC 実践する! 実習形式

現場での就業体験を通じ、実践的なシステム開発に取組む実習形式。団体・企業は学生を現場で受け入れ、開発指導と評価を担当。

対象学生・授業名 学部3年「システム開発実践」
大学院1・2年「高度システム開発」

授業実施月 8月～9月



企業様の声

新規事業のプロジェクトの一部を協働的に進めることができており、とても面白く取り組ませていただきました。

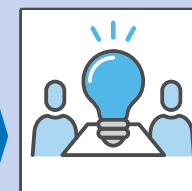
学生の声

普段は意識しない問題の解決に取り組み、課題解決の知識やチームでの進行方法を学ぶ機会になりました。



提案から 実施までの フロー

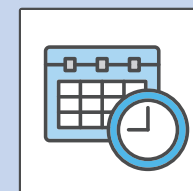
※授業によって、調整・授業等の実施月は異なります。



①授業テーマ提案
(9月～11月)



②授業テーマ決定・
実施依頼(12月頃)



③実施に向けての
調整(翌年1月～順次)



④次年度、授業実施